



伏見小学校だより 8-9月号



令和6年9月17日 伏見小学校長 矢野 賀久

HPのQRコード

2学期が始まりました



【2学期初日の登校の様子】

8月26日より2学期が始まりました。37日間の長期休業中、ご家庭や地域の皆様で子ども達の安全を見守っていただき感謝申し上げます。始業式も朝から暑い日でしたが、子ども達は、久しぶりに友だちに会えるのを楽しみにしているようで、全員早めに登校してくれました。ご丁寧に「校長先生、2学期もよろしくお願いします。」と言ってくれる児童もいました。オンラインでの始業式を終え、大掃除と学級活動がありました。1年生教室では、夏休みの楽しかった思い出を記した

絵日記をお互いに見合い、発表して感想や質問をし合う姿が見られました。どの子も、自分の思い出を話すときはとてもいい笑顔で、友達の感想や質問に答えるときも嬉しそうです。きっと素晴らしい経験をたくさんして、心から満足できた夏休みを送ったのだらうと思います。2学期も子ども達が、様々な体験や学びを行いながら、元気に笑顔で過ごせるよう職員一同で取り組んでまいります。引き続き、学校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



【1年生の学級活動の様子】

ゲストティーチャーによる授業



【6年生の授業の様子】

8月29日に、1・6年生の授業でゲストティーチャーに来ていただきました。1年は、春の遠足で現地学習した「うだ・アニマルパーク」による「いのちの教育」の2回目で、スタッフの方が授業を行ってくれました。6年には、奈良教育大学ユネスコクラブの学生と奈良女子大学生活環境学部「平城宮跡アオハルプロジェクト」の学生が、共同プロジェクトで授業を行ってくれました。

1年の「いのちの教育」では、人間と同じように動物も「生きている」ことや、動物も人間と同じように「気持ち」があることなどを、1年生にもよく分かるように、模型や掲示を上手に使って説明してくれました。地球上の「命」あるものすべてを、人間や自分中心だけでなく、広い視野で考えられる子、そして何より自分の「命」、周りの人の「命」を大切にできる子に育ててほしいと感じました。6年は、SDGs(持続可能な開発目標)達成のための学習として、身近な世界遺産「平城宮跡」の自然を守る取組につなげる生態系(在来種と外来種)の学習を行いました。学生によるプレゼンやロールプレイ、まとめにはグループで「外来種を増やさないためにどうしたらいいだろう?」という課題の話し合いを行いました。最後に次の現地学習(平城宮跡「おぎの美術館」)での活動について、説明してもらいました。学習から活動へ、そして未来へつながる大変有意義な学習となりました。

「人権」学習参観・懇談

9月10日の3・4年生から2学期最初の参観懇談が始まりました。今回は「人権」に関連する授業を見ていただきました。3年生は「こんな友だちがすき」という学習で、それぞれ自分の考える好きな友達像を選択し



※日頃の学校生活の様子は、伏見小学校ホームページ内のブログに掲載しておりますのでご覧ください。